

JAPAN PILE CORPORATION

第7期（2012年3月期）

第2四半期決算説明

2011年 11月



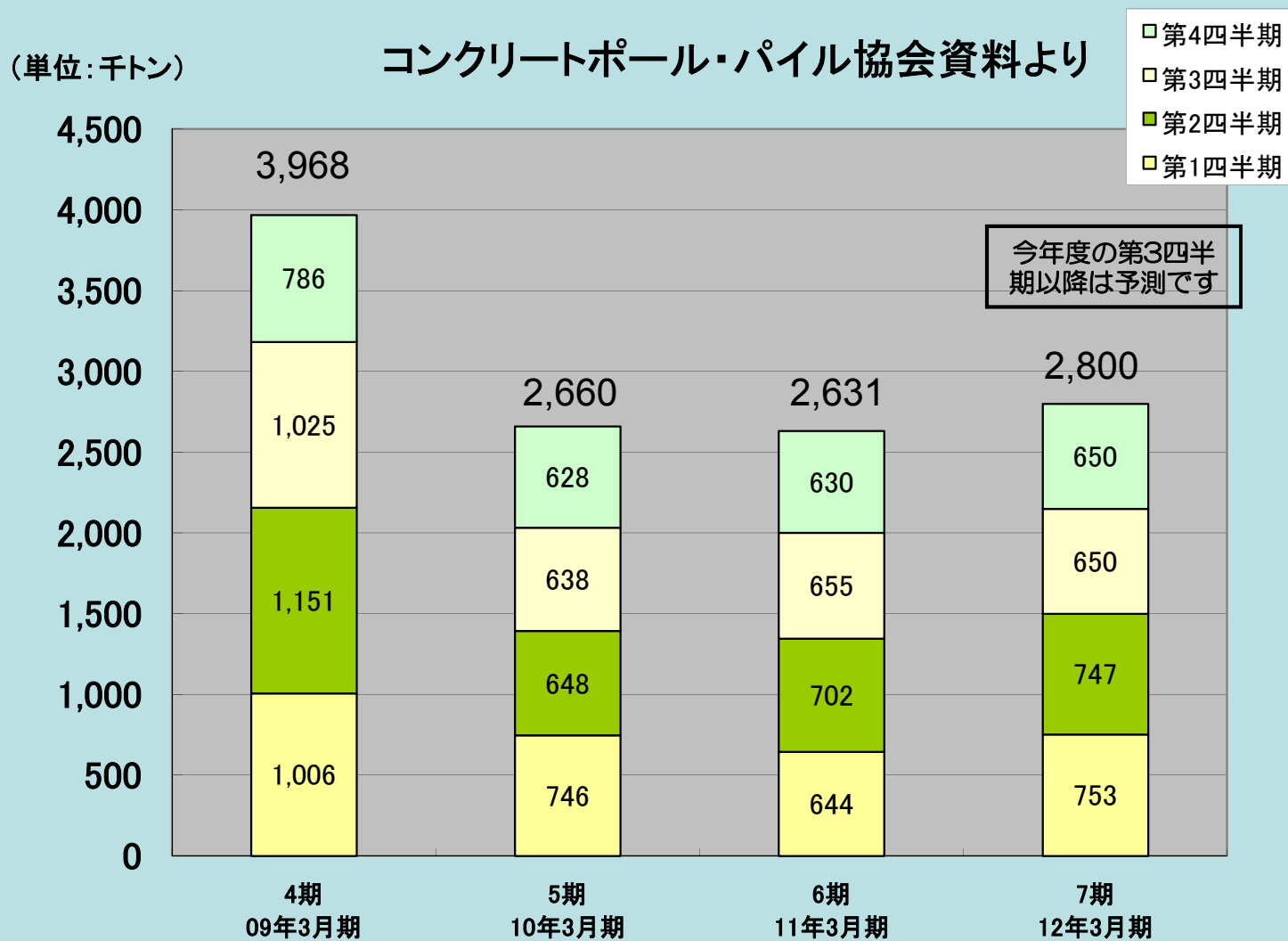
ジャパンプイル株式会社

【1】 2012年3月期業績
資料（1）～資料（11）

【2】 当社の経営方針について
資料（12）

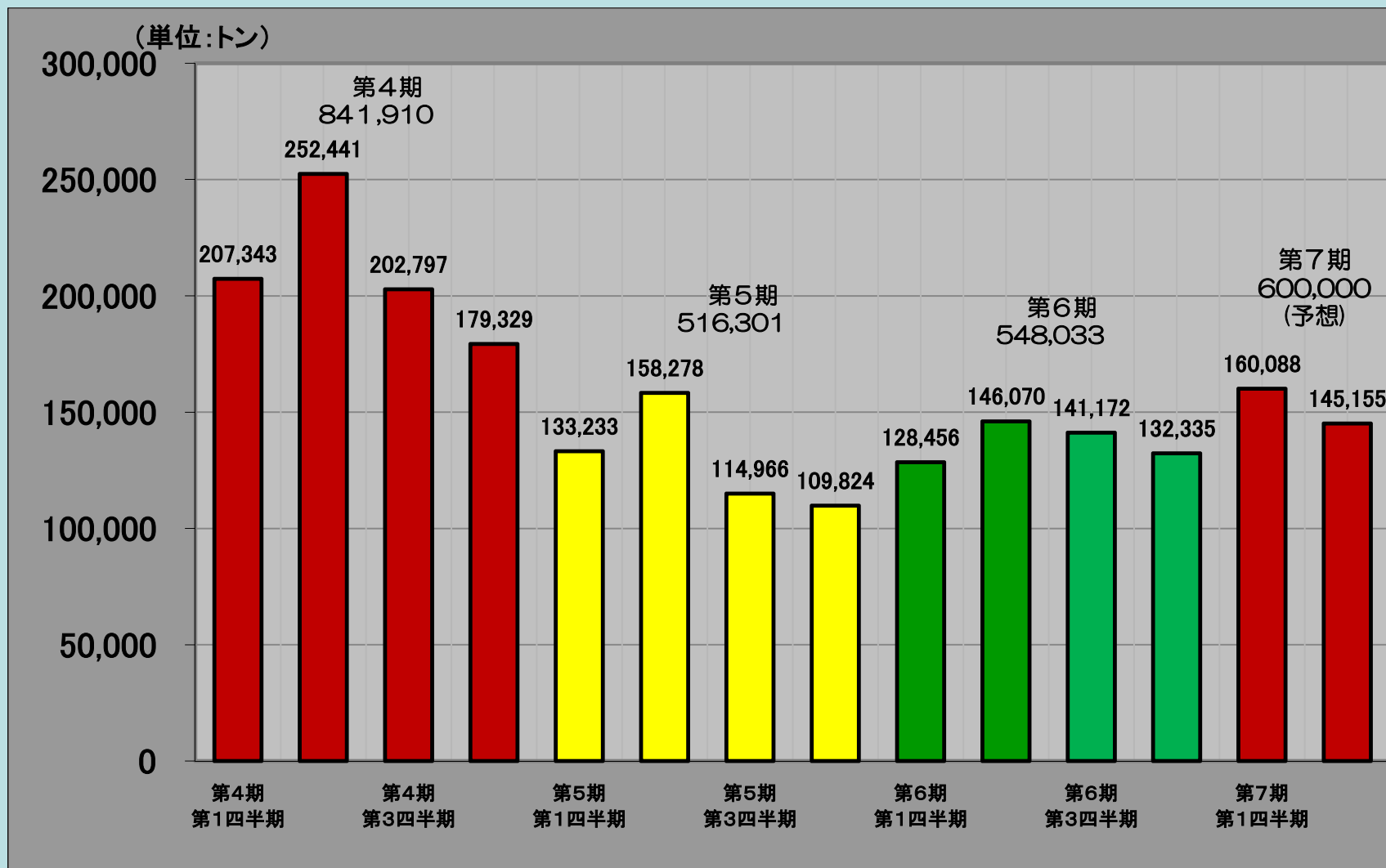


(1) 全国コンクリートパイロ出荷の推移



需要が増加。今期は5%以上の増加。

(2) 当社コンクリートパイプ完工量の推移



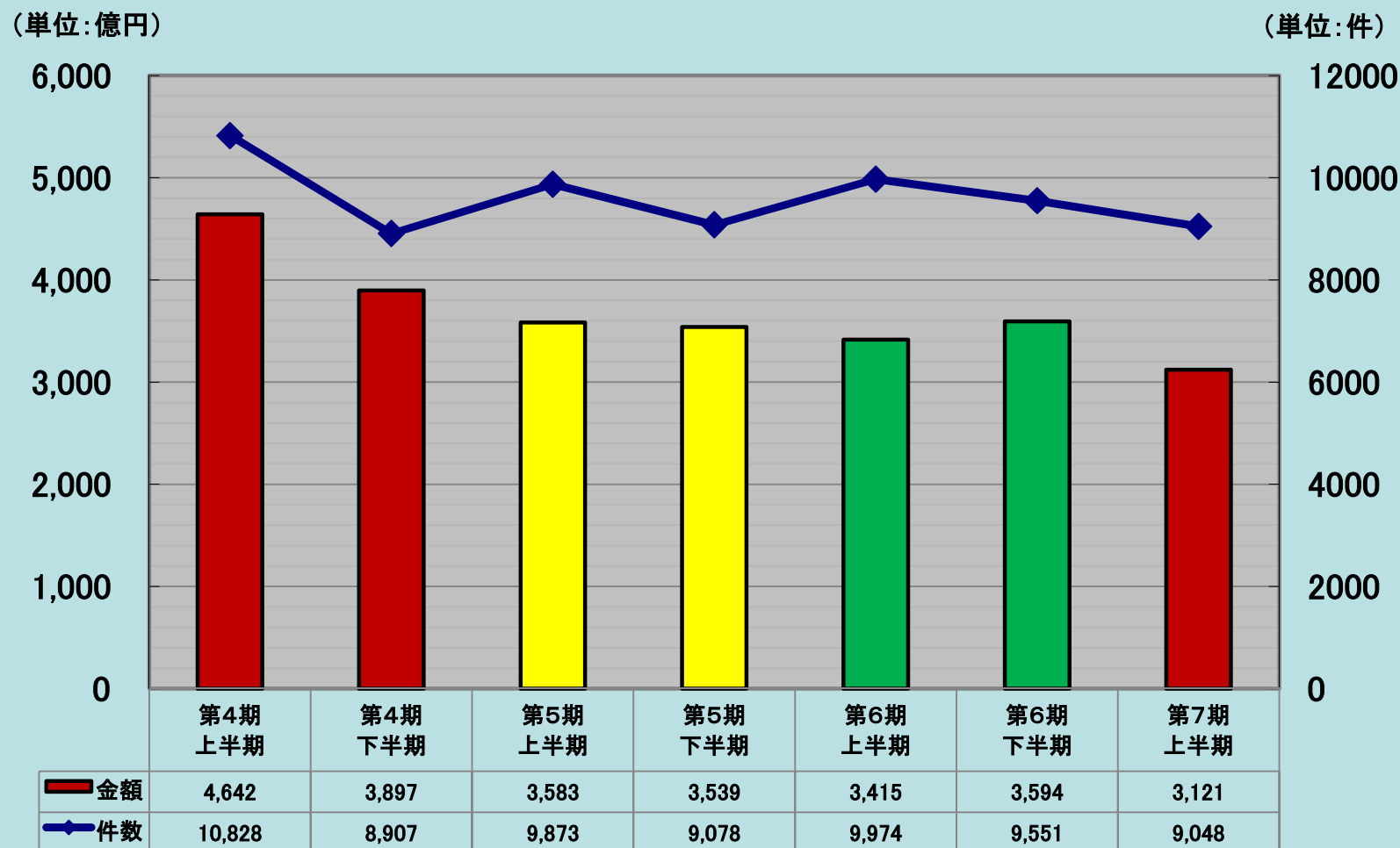
減少傾向から回復傾向に変化。

(3) コンクリートパイルのシェアの推移

コンクリートポール・パイル協会資料より

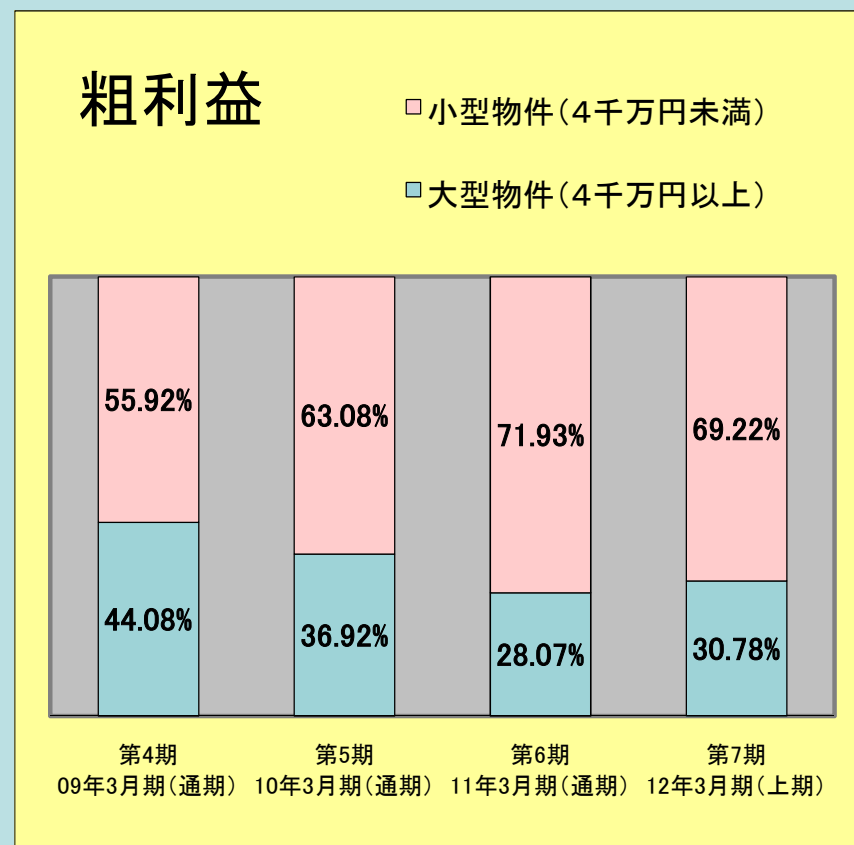
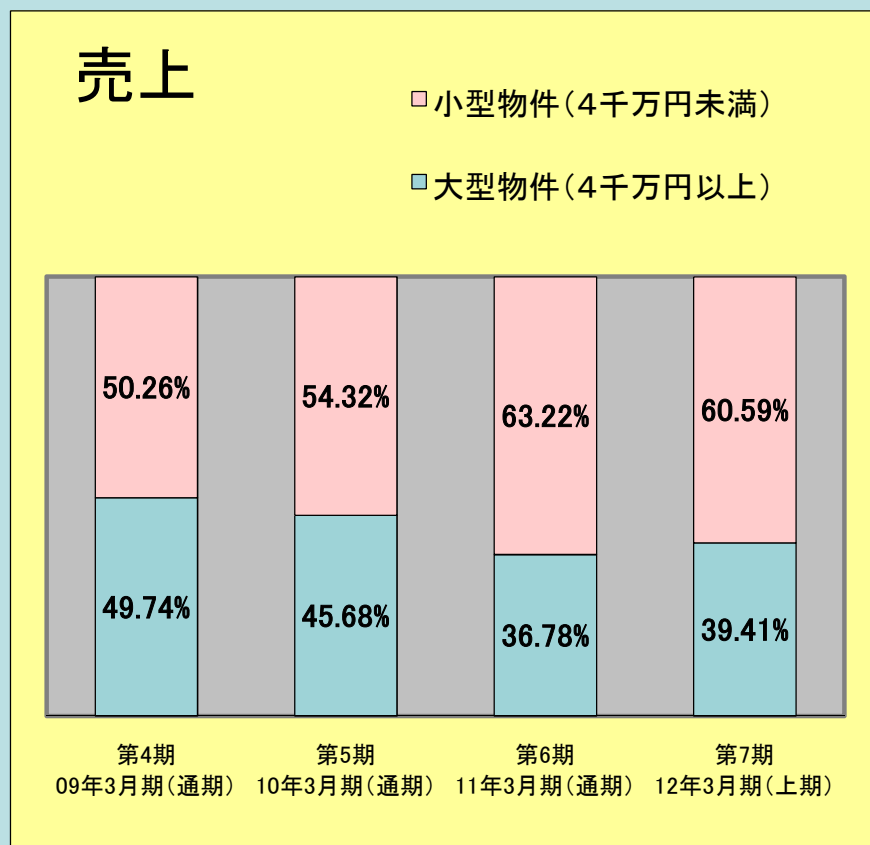
		2009年度上期	2009年度下期	2010年度上期	2010年度下期	2011年4～6月	2011年7～9月
ジャパンパイル	出荷量(t)	237,445	201,786	251,234	246,766	152,249	119,733
	シェア	17.0%	15.9%	18.7%	19.2%	20.2%	16.0%
	完工量(t)	291,512	224,789	274,524	273,506	160,088	145,155
	シェア	20.9%	17.8%	20.4%	21.3%	21.3%	19.4%
三谷セキサン	出荷量(t)	281,887	309,072	293,014	289,569	197,421	192,485
	シェア	20.2%	24.4%	21.8%	22.5%	26.2%	25.8%
日本コンクリート工業	出荷量(t)	146,768	121,485	135,052	95,977	70,130	68,840
	シェア	10.5%	9.6%	10.0%	7.5%	9.3%	9.2%
日本ヒューム	出荷量(t)	137,641	83,022	104,865	107,103	59,331	71,821
	シェア	9.9%	6.6%	7.8%	8.3%	7.9%	9.6%
トーヨーアサノ	出荷量(t)	73,083	75,486	82,385	84,149	53,553	41,431
	シェア	5.2%	6.0%	6.1%	6.5%	7.1%	5.5%
上位5社計	出荷量(t)	876,824	790,851	866,550	823,564	532,684	494,310
	シェア	62.9%	62.5%	64.4%	64.1%	70.7%	66.2%
総出荷量	出荷量(t)	1,394,496	1,265,749	1,346,470	1,284,791	753,196	746,947

(4) 引き合い情報の推移



前年同期対比、金額91.4%、件数90.7%

(5) 売上高別の売上・粗利益の比率



小型物件の比率が増加し、利益率の改善に寄与。

(6) 最適生産体制への推移

工場を集約し、効率化を推進。

2010年3月期、実施具体例

1. 滋賀第二工場・青森工場を閉鎖。
2. 茨城工場を改修し、生産ラインを効率化。
3. その他の工場における請負等の解除(内製化努力)

2011年3月期、実施具体例

1. ホッコンJP(株)を設立し、北海道工場を閉鎖。
2. 生産部門の連結子会社の全従業員を対象に希望退職を実施。
結果、196人が応募し、退職。
3. 兵庫工場・岡山工場・熊本工場を閉鎖。

2012年3月期、実施具体例(2011年11月現在まで)

1. ジャパンパイル製造(株)を吸収し、製販一体化。
2. ホッコンJP(株)が稼働し、北海道での供給体制を確立。
3. 岡山工場の操業を再開。

この結果、固定費削減と柔軟な供給体制が完成。

(7) 比較連結損益計算書

(単位:百万円)

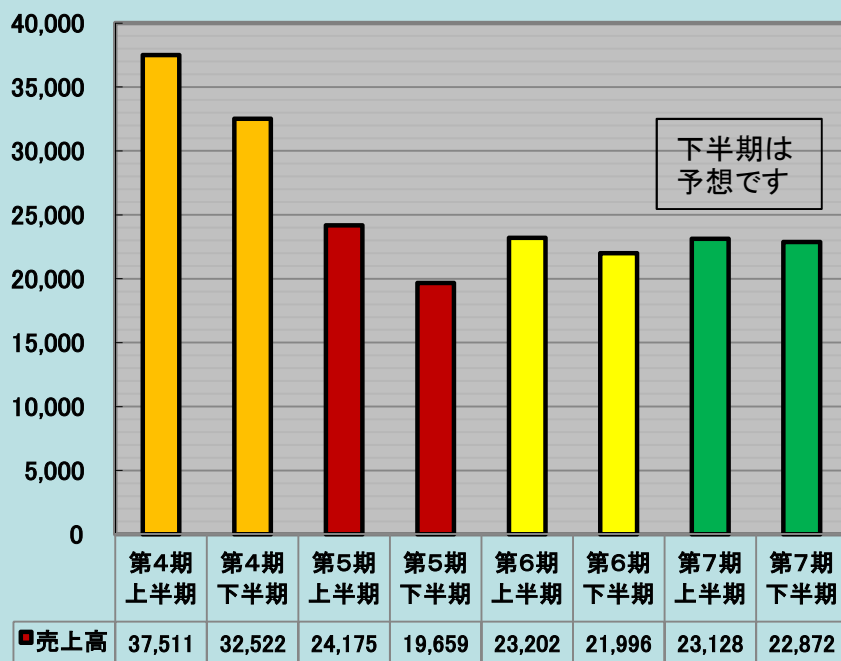
	第4期	第5期	第6期	第7期	第7期計画
	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	上半期	2012年3月期
売上高	70,033	43,834	45,198	23,128	46,000
売上原価	60,248	37,925	39,598	19,819	39,650
売上総利益	9,785	5,909	5,599	3,308	6,350
(粗利益率)	(14.0%)	(13.5%)	(12.4%)	(14.3%)	(13.8%)
販売費及び一般管理費	8,087	6,233	5,798	3,156	6,050
営業利益	1,698	△ 324	△ 198	151	300
営業外収益	532	618	474	302	500
営業外費用	181	254	229	126	200
経常利益	2,049	39	45	327	600
特別利益	104	360	155	2	—
特別損失	940	889	2,439	168	50
税金等調整前純利益	1,214	△ 488	△ 2,238	161	550
税金費用	889	21	△ 51	△ 2	50
少数株主利益(△損失)	△ 10	△ 12	14	37	—
純利益	335	△ 498	△ 2,201	126	500

黒字回復が計画どおりに達成。

(8) 連結売上高・営業利益の推移

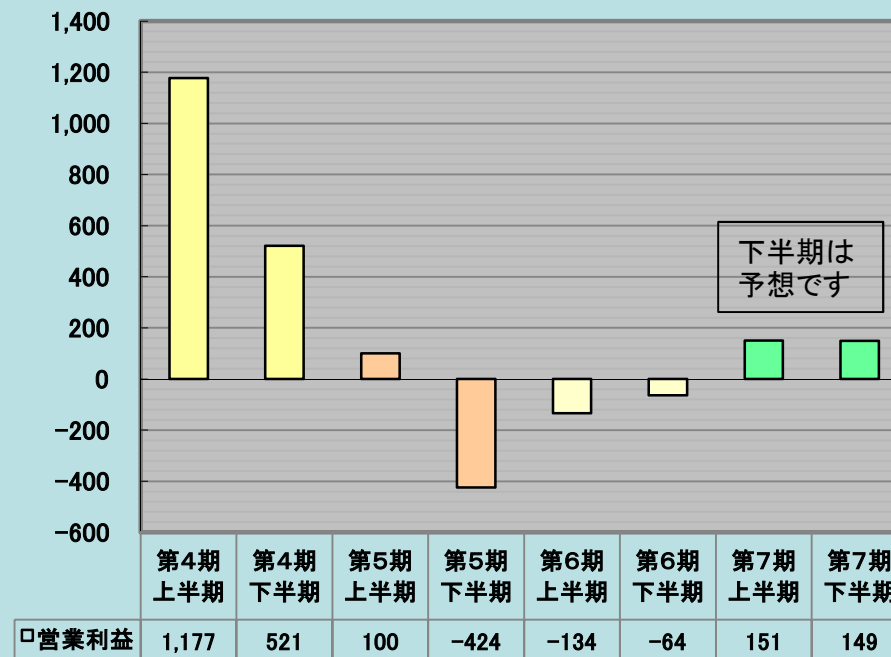
(単位:百万円)

売上高



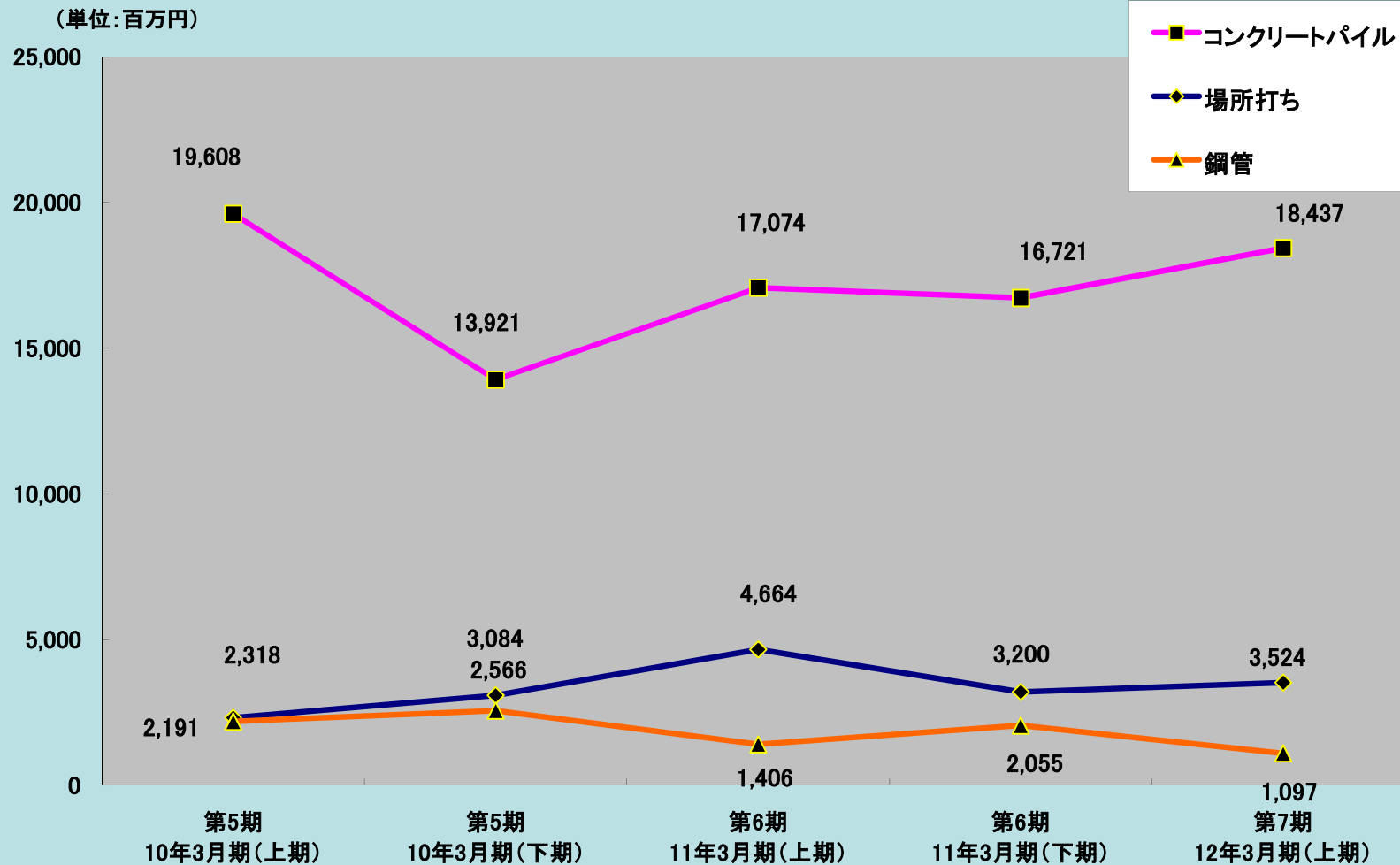
(単位:百万円)

営業利益



営業利益が黒字に回復。

(9) 事業別 売上高の推移



コンクリートパイルの売上比率が増加。

(10) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第6期 11年3月期(上期)	第7期 12年3月期(上期)	第6期 11年3月期(通期)
税金等調整前当期純利益	△ 1,924	161	△ 2,238
減価償却費	663	476	1,334
売上債権の増減 (△は増加額)	△ 3,599	△ 435	△ 2,190
たな卸資産の増減 (△は増加額)	197	△ 44	△ 822
仕入債務等の増減 (△は減少額)	2,641	△ 76	3,097
その他	2,291	642	1,378
I.営業活動によるキャッシュフロー	270	724	558
有形固定資産の増減	△ 141	△ 51	△ 246
その他	△ 189	△ 81	△ 319
II.投資活動によるキャッシュフロー	△ 331	△ 132	△ 565
借入金・社債の増減	720	△ 205	△ 315
配当金の支払	△ 208	△ 127	△ 208
その他	△ 124	△ 179	△ 397
III.財務活動によるキャッシュフロー	386	△ 511	△ 921
IV.キャッシュフロー期末残高	6,884	5,709	5,630

(1 1) 海外事業展開

ベトナムPhan Vu(ファンブー)社との資本・業務提携

(1) 資本提携 (2010/7/30)

5%出資、総額300億VND(約140百万円)

(2) 業務提携 (2010/9/30)

(3) 提携の狙い

- ・ベトナムのパイル市場調査、本格進出の可能性検討
- ・ベトナム進出の日系企業に対する基礎工事サポート
- ・パイル製造・施工技術供与
- ・ベトナムでの節杭普及
- ・東南アジア諸国への進出形態検討

(4) 現状の展開

- ・現地に3名が駐在し、各種調査を開始(2010/11より)
- ・現地において施工法の技術指導の開始(2010/12より)
- ・ベトナムからの研修(2人)を受入(2011/2/21～25)

(12) 当社の経営方針について

1. 業績改善の要因

- (1) 最適生産体制の確立
- (2) コンクリートパイルの需要回復
- (3) 中小型工事の採算の改善努力

2. 下期の見通し

3. 当社業務スタイルの特徴

- (1) 企業成長戦略
- (2) 業務スタイル

4. 今後の展望

- (1) 復興需要は三年程度続く
- (2) ベトナムの投資の拡大
- (3) コンクリートパイル業界の動向

代表取締役社長：黒瀬 晃